第８１回生命科学先端研究センター
学術セミナー

日時：平成25年２月14日（木）午後４時30分から６時
場所：杉谷キャンパス 共同利用研究棟６階 会議室
講師：中西　淳 先生（武田薬品工業㈱ 先端科学研究所・主席研究員）
演題：「iPS cells and drug discovery」
内容

　iPS細胞は無限の増殖能を持ち、様々な組織の細胞に分化できることから、再生医療や創薬への活用が期待され、実際に実用化への流れが急速に進展している。我々のグループでは、2008年より、ヒトiPS細胞を京都大学より導入し、神経や膵β細胞の分野で創薬への活用について検証を開始した。

　本セミナーでは、このiPS細胞を用いた創薬研究について、製薬企業の立場から具体例を紹介しつつ、現状の課題や将来への展望も含めて解説する。また、患者さんから作製された疾患特異的iPS細胞は、疾患メカニズムの解析および新規創薬ターゲット探索に活用できる可能性が大きく、これまで有効な治療法や薬剤が開発されていない難治性疾患に対する新たなアプローチ方法を提供するという点で画期的である。すでに、遺伝性疾患を中心に相当数の疾患特異的iPS細胞が作製され、病態フェノタイプを再現する細胞モデルの構築を目指して研究が始まっている。この疾患特異的iPS細胞を用いた疾患研究についても、とくに創薬への活用の観点から、内外の情勢を紹介したい。

※本セミナーは、大学院医学薬学教育部の単位認定の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

◎問い合わせ先
大熊芳明（大学院医学薬学研究部教授、生命科学先端研究センター長、地域連携推進機構ライフサイエンス部門長）
電話：076(434)7540　メール：ohkumay@pha.u-toyama.ac.jp